



つけもの大根作柄良好

昭和47年、福島川の堤防敷地内には、丸太を組んだ見事な大根干し場が組まれていました。この大根は、市農協と大東農協が東海つけもの製造株式会社と契約栽培した漬物用のもの。川の兩岸は川風と西風がよく当たるため、干し場に最適でした。この大根は早掘り甘しょの後作に植えられたもので、この年の作柄は良好でした。～昭和47年12月発行・広報くしまから～



福島川堤防の大根干し場



My Town Topics

まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

仲町通りに地場産品ずらり



11月20日、仲町通りで『なかんまちとんじゃか市』がありました(主催:仲町商店会)。この日は毎月第3日曜日恒例の『よかむん市』も同時開催。会場には市内外から多くの出店が立ち並びました。また、大縄跳び選手権が行われたほか、炭焼きのさんま、新鮮なマグロの刺身が振る舞われるなどイベントも充実。好天にも恵まれ、朝早くから多くの人で賑わいました。



INTERVIEW

初出品を体験

福島中学校2年

河合さん・小玉さん・野上さん

今日は2学年が出品者として参加しました。もち米は自分たちで田植えと稲刈りを農業体験したもので、銀杏は校庭に実っていたものを洗い、選別しました。準備は大変でしたが、買ってもらったときの喜びはとても大きいです。

Scene 5

社会の一員を自覚就業体験



11月7日～9日の3日間、福島高校2年生の生徒88人が市内28事業所で就業体験(インターシップ)をしました。同体験は社会を支える一員としての自覚と、働く目的を理解するために実施。市役所では5人の生徒が研修しました。生徒は職員と現場に出かけるなどし、市民とも積極的に交流。行政のしくみを学ぶとともに、同校の存在意義も新たにしていました。



INTERVIEW

広報とコラボ

福島高校2年

前門充徒くん

情報政策係でパソコンのメンテナンスや広報の取材を体験しました。情報システムには興味があったので、とても有意義でした。今、生徒会長をしているので、この経験を生かし『広報くしま』とコラボして積極的に学校をPRしていきたいです。

Scene 4

日本の伝統芸能に拍手喝采



11月7日、北方小学校で吉松亭落語会の出張ライブがありました(主催:同実行員会)。囃子には三遊亭好太郎さんなど2人を迎え、同校児童のほか秋山小学校児童、保護者も寄席を鑑賞。身ぶりを交えた巧みな話芸に会場が沸きました。演目は『転失気』や『しの字嫌い』のほか扇子を使ったそば食などの形態模写も披露。瞳を輝かせ高座に見入る児童たちでした。



INTERVIEW

次も聞きたい

北方小学校3年

川崎麻莉亜さん

今日は、初めて落語を聞きました。とても楽しく聞くことができ、良かったです。特に、50音を使って外国語の発音をしゃべる物まねと、おならのはなし『転失気』がおもしろかったです。また、次のときも落語を聞いてみたいと思いました。

Scene 3

文化の秋図書館の彩り 8千冊



11月6日、市立図書館が『としょかんまつり』を開きました。本の交換広場となった文化会館小ホールには市民から寄せられた約8000冊の本が並び、目当ての本を探す来場者でにぎわいました。本は2冊の持ち込みで交換券1枚を発行(交換券は1枚で本1冊と交換可)。箱いっぱい本を持ち帰る人もいました。また、図書館ではお話し会も同時開催されました。



INTERVIEW

図鑑が大好き

南さくら保育園・きりん組

川崎夢斗くん

ママとお友だちの3人で来ました。絵本はとても好きです。一番好きなのは、乗り物や虫がたくさん出てくる本(図鑑)です。虫は、カマキリが大好きです。今日は、『夏の虫・夏の花』という本を買ってもらいました。とても気に入りました。

Scene 2

観光資源生かすエコツアー



11月4日、串間市役所で近畿大学の学生が串間の自然を生かしたエコツアーを企画・提案しました。ツアーは『まだ見ぬ自然との出会い～宮崎へつなぐエコツアー』と題し、学生を対象に低価格で設定。幸島散策や都井岬トレッキング、海岸清掃など観光資源を生かす一方、保全にも配慮した内容でした。参加者は興味深く耳を傾け、新たな観光の可能性を感じていました。



INTERVIEW

さらに安価も

串間商工会議所

長渡國良さん

串間のことを取り上げていただき、本当にありがたいと思いました。幸島は市民でも散策したことのない人は多いはず。市民もそのよさを実感できる機会があるといいですね。ツアーは正直なところ、もっと価格を抑えられと思いました。

Scene 1

爽やかな秋風と景色を堪能



11月3日、市民の健康と体力づくりへの理解を深めてもらおうと第29回市民健康ウォークが開かれました。イベントには市民65人が参加。地域生活支援センターWingを発着点とする市内約9kmを歩きました。参加者は田園のコスモスや桜づつみロードの景色を愛で、爽やかな秋の日を堪能。ゴール後は食生活改善推進員の方々の手製の弁当に舌鼓を打ちました。



INTERVIEW

秋の実り発見

福島地区・西本西方

京塚いつ子さん

今日は曇り空で、歩くのにちょうど良い天気でした。途中、ぐみやからす瓜などの実りを目にし、新鮮に感じました。始めは不安だった9kmの道のりも、おかげで短く感じました。歩いた後のお弁当が何よりおいしいです。ぜひ、来年も参加したいです。